

| 開講学科 | 総合デザイン工学科 | | 前橋工科大学 シラバス | | | |
|----------------|---|--|-------------|-------|-----|----------|
| 科目名 | 建築設計Ⅲ(デザイン演習Ⅲ) | | 標準対象年次 | 選択/必修 | | 科目コード |
| | | | 3年次 | 選択 | | 18103101 |
| 担当教員 | 江本間夫、杉浦榮、田所淳、斉藤佑子 橋本薫 | | 単位数 | 学期 | 曜日 | 時限 |
| | | | 2単位 | 前期 | 月曜日 | 6・7時限 |
| 授業の教育目的・目標 | 目的：優れた建築デザインとそのデザインプロセスの習得 目標：自らデザインした建築（文化系施設、文教系施設等）を、図面・模型等によってプレゼンテーション出来る技術を身に付ける。 | | | | | |
| 学科の学習・教育目標との関係 | ・建築計画、建築設計、都市計画などに関する学修を通じて、人にとって快適な建築物と生活空間を設計することのできる技術と能力を養う。 | | | | | |
| キーワード | 建築、デザイン、設計、図面表示、文化系施設、文教系施設、空間、プレゼンテーション | | | | | |
| 授業の概要 | 文化系施設や文教系施設等を中心とした社会的機能を持つ建築をテーマに設計作業を行う。これらの施設は、時に複合されたものとして提示される。デザインプロセスにおいては、施設用途に応じた建築計画、法規、構造、設備等の条件を満たすことはもとより、敷地が置かれた都市や自然環境と調和する建築の在り方について、また各々の施設の主たる目的とは別に社会に開かれた機能や空間をその内に見出すことについて十分に検討し、豊かな公共空間の創出に供する環境デザインを目指す。 | | | | | |
| 授業の計画 | 第1回： 課題1「文化系施設」出題、敷地周辺のコンテキスト（文脈）の読み込み作業開始（全担当教員） 第2回： 敷地周辺模型、構想提出、チェック（全担当教員） 第3回： 第1案提出（配置図、平面図、断面図、模型）、チェック（全担当教員） 第4回： 第2案提出（配置図、平面図、断面図、模型）、チェック（全担当教員） 第5回： 第3案提出（配置図、平面図、断面図、模型）、チェック（全担当教員） 第6回： 最終案図面一式提出、チェック（全担当教員） 第7回： プレゼンテーションチェック（全担当教員） 第8回： 課題1提出、課題2「文教系施設」出題（全担当教員） 第9回： 課題1講評、課題2構想提出、チェック（全担当教員） 第10回： 第1案提出（配置図、平面図、断面図、模型）、チェック（全担当教員） 第11回： 第2案提出（配置図、平面図、断面図、模型）、チェック（全担当教員） 第12回： 最終案図面一式提出、チェック（全担当教員） 第13回： プレゼンテーションチェック（全担当教員） 第14回： 課題2提出（全担当教員） 第15回： 講評会（全担当教員） | | | | | |
| 受講条件・関連科目 | 受講条件：デザイン基礎演習Ⅰ・Ⅱ及びデザイン演習Ⅰ・Ⅱの単位を修得していることを原則とする。 関連科目：デザイン基礎演習Ⅰ・Ⅱ、デザイン演習Ⅰ・Ⅱ、建築計画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ | | | | | |
| 授業方法 | 毎回の授業は、各自が進めてきたエスキース（スケッチ、図面、模型等）を教員がチェックし、アドバイスを施す形式で行う方法を基本とする。関連してスライドレクチャー等も適宜行う。 | | | | | |
| テキスト・参考書 | 必携参考書：コンパクト建築設計資料集成/日本建築学会編/丸善、Vectorworksを使用することが望ましい。 | | | | | |
| 成績評価 | ・期末試験（ %） ・レポート（ %） ・小テスト（ %） ・その他（提出作品）（95%） / （受講態度）（5%） | | | | | |
| 履修上の注意 | 毎回の授業には、指定された提出物（エスキース等）を必ず持参すること。 | | | | | |